

能登歴史公園（石動山地区）の平成18年度管理状況

施設所管課	中能登土木総合事務所
指定管理者	中能登町長 代表者 杉本 栄蔵
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

（1）管理業務の実施状況

業務内容 （協定・条例に規定）	具体的な業務（仕様書、事業計画）の実施状況 （不十分な場合、その理由、指摘事項を記入）
使用する者への利便の提供に関する業務	施設の使用受付、案内等の接遇向上 ・係員に電話対応の言葉遣い等を徹底 利用者の苦情・意見の把握・対応 ・利用者からの問い合わせ（延120件） ・ご意見箱の設置による利用者からの要望、意見（延1通）
利用の促進に関する業務	自主事業の企画・実施 ・いするぎウォーク（参加人数50人） ・こどもふるさと塾（参加人数25人） 施設の情報提供、広報、広告 ・町ホームページでの情報提供 ・町広報誌での情報提供（延6,300部） ・自主事業PRポスター掲出（延25部） 周辺地域、関係機関との連携・協力の推進 ・地元ボランティアグループと協同し、円滑な現地案内を実施
使用の許可に関する業務	該当無し
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	清掃：トイレ1回/日 保守点検：トイレ設備、あずまや 警備：1回/日巡回 小規模修繕：トイレ（給排水設備）、標柱名板ほか
（その他知事が必要と認める業務）	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・職員の安全管理研修を実施 個人情報の管理状況：個人情報保護職員研修を実施

（2）施設の利用状況

利用指標（（設定している場合）利用人数、稼働率などの数値目標）

指標	H17年度 （参考）	H18年度	前年度比	増減理由
施設利用者数(人)	7,700	6,300	82%	団体利用の減少に伴う、利用者数減

使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当なし			

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
該当なし			

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	7,320	人件費	3,276
		光熱水費	223
		修繕費	103
		植栽等管理費	3,242
		その他	314
合計	7,320	合計	7,158
収支差額	162		

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項)

利用者アンケート結果、評価、苦情、要望

年月	内容	対応
平成18年9月	<ul style="list-style-type: none"> 売店を設けて欲しい 子どもが遊べる遊具が欲しい 	立地状況や歴史公園としての特性から、利用実態を見極め検討する

事故、故障等

年月	内容	対応
事故発生なし		

その他報告事項など

--

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
サービスの維持・向上に向けた取り組みが行われているか。	B	・意見箱の設置等によって、利用者の声を運営に活かすことで、よりサービスの質向上を図ることを期待する。
利用促進に向けた取り組みが行われているか。	C	・イベントの実施やインターネット、町広報などによりPR活動に努めているが、国指定史跡としてより広域的な利用促進を図る工夫を期待する。
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	・1日1回のパトロールにより適切な保守点検を実施している。山間部での公園のため、降雪による施設被害があり、今後、耐雪に対応した施設保護及び修繕の検討を望む。
緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	B	・携帯電話での連絡が取れないため、緊急時対応が適切に実施可能か検証が必要。
適切な管理運営を行う組織・体制か。	A	・文化財に精通した職員の配置がなされており、業務に関する研修・講習が十分なされている。
その他、必要と認める事項(例:苦情処理、個人情報保護)	B	・利用者からの苦情対応や個人情報保護は概ね適正。
総合評価	B	・歴史公園としての目的にあった管理運営がなされており、より一層の公園のPR、利用促進に期待する。

評価基準

- A(優): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を上回っている
- B(良): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C(可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D(不可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A(優): 適正であり、優れた実績をあげている
- B(良): 適正である
- C(可): 概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D(不可): 改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

<ul style="list-style-type: none"> ・公園利用者が前年度(H17)と比較して2割程度減少している。今後はアンケートの実施もとり入れ、利用者ニーズを把握しながら町観光担当課との連携や総合学習の場としての活用等、公園の魅力づくりとPR活動の積極的な推進に期待する。
--